

なかなか着床しない・不育症に悩まれる患者様へ

不妊症と子宮内フローラの関係



EMMA

子宮内膜
マイクロバイオーーム検査

子宮内にラクトバチルス(乳酸菌の一種)が90%以上存在すると、妊娠率が高くなると言われています。



ALICE

感染性慢性
子宮内膜炎検査

子宮内に慢性子宮内膜炎の原因菌がいると、妊娠率が低くなると言われています。



EMMA検査はどんな検査？

子宮内の細菌の割合を調べ、ラクトバチルスが90%以上あるかどうかを調べる検査です。



ALICE検査はどんな検査？

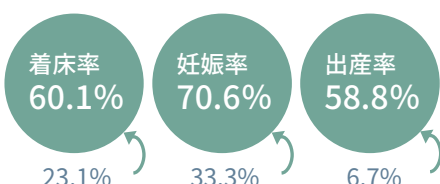
子宮内に慢性子宮内膜炎に関連する10種類の病原菌がいるかどうかを調べる検査です。



EMMA検査のメリット

- 子宮内の細菌バランスを知ることができます
- もし、細菌のバランスが悪い場合、適切な抗菌薬を推奨します

ラクトバチルス90%以上のとき



EMMA検査のメリット

- 慢性子宮内膜炎の予防ができます
- もし、病原菌が検出された場合、適切な抗菌薬を推奨します

慢性子宮内膜炎罹患率

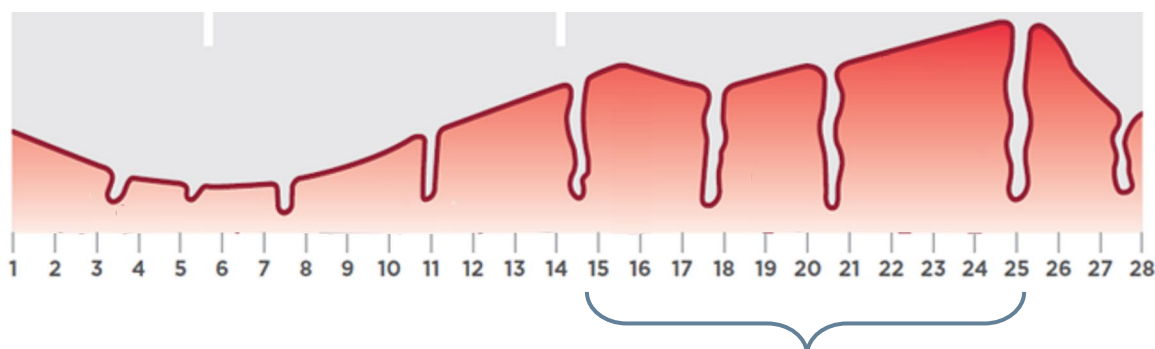
不妊治療経験者 30%

反復着床不全・反復流産経験者

66%

EMMA/ALICE検査の方法は？

EMMA/ALICE検査では、子宮内膜の厚くなる高温期(月経約15日～25日目)ごろ、子宮内膜の一部を採取する処置を行います。



この時期に子宮内膜の一部を採取します



EMMA/ALICE検査の結果

EMMA/ALICE検査の結果は下記の5つのパターンです

	EMMA検査結果	ALICE検査	推奨される治療
パターン 1	NORMAL 子宮内のラクトバチルス菌が90%以上	NEGATIVE 病原菌は検出されませんでした	特になし
パターン 2	ABNORMAL 子宮内のラクトバチルス菌が90%以下	NEGATIVE 病原菌は検出されませんでした	推奨の抗菌薬での治療、ラクトバチルス錠剤による加療が推奨されます
パターン 3	ABNORMAL 子宮内のラクトバチルス菌が90%以下	POSITIVE 病原菌が検出されました	推奨の抗菌薬にて治療し、ラクトバチルス錠剤による加療が推奨されます
パターン 4	MILD 子宮内の菌の数はそれほど多くありません	NEGATIVE 病原菌は検出されなかった、またはごく少量のため問題ありません	ラクトバチルス錠剤による加療が推奨されます
パターン 5	ULTRALOW 子宮内の菌がほとんど検出されませんでした	NEGATIVE 病原菌は検出されませんでした	ラクトバチルス錠剤による加療が推奨されます

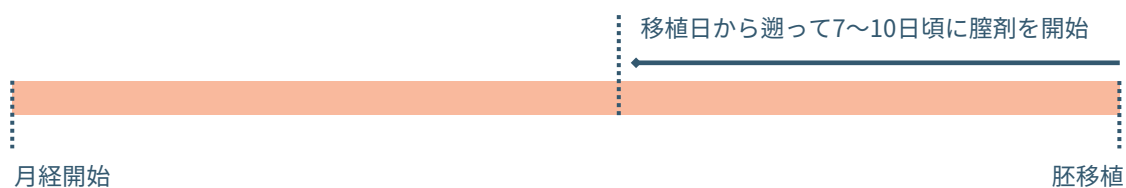


治療が推奨される場合のスケジュールは？

※ 下記以外の移植スケジュールを行う場合もございますので、詳細は担当医とご相談ください。

例1) ラクトバチルス菌錠剤によるプロバイオティクス治療が推奨される場合

移植周期



例2) 推奨の抗生物質治療後、ラクトバチルス菌錠剤によるプロバイオティクス治療が推奨される場合

移植周期

